

相馬市立中村第一中学校だより



螢雪の功

令和6年7月12日発行

文責 高瀬 永志

1学期も残り1週間となりました。本日のPTA行事ではご参加ありがとうございました。1学期の反省や夏休みの注意事項などご家庭でもお話し下さい。先日、少年の主張相馬大会が行われました。本校から出場した3名を含む市内4校の中学校の代表生徒が、それぞれの思いや考え方を堂々と発表し、大変素晴らしい大会でした。1年の安部さんの主張は、人と違う自分を認めることから、互いの個性を認め合い、生きやすい社会を創りたいと、まさに人権に関わる考えをわかりやすく、論理的な表現で述べました。2年生の今岡さんは、スクールカーストがある以上いじめはなくならないと、大人には見えづらい中学生ならではの鋭い視点で問題の本質を浮き彫りにしました。3年生の小田さんは、相馬市の未来について、少子化、人口減少といった課題解決について中学生の視点から考え、大人も納得する根拠とともに提案することができました。中学生のもつ考える力、伝える力を再認識しました。安部さんは優秀賞、今岡さん、小田さんは優良賞を受賞しました。おめでとうございます。司会を務めた3年池田さん、佐藤さんも上手にできました。お疲れ様でした。

吹奏楽コンクールに向けて

吹奏楽コンクール相双大会に向けて、激励と演奏発表を兼ねた壮行会を行いました。吹奏楽部もこのコンクールに向けて日々の練習をがんばってきた成果として、素晴らしい演奏を披露しました。演奏している時の、指揮を見る真剣なまなざしから、集中力と気合いを感じました。本番では、緊張するとは思いますが、仲間と紡ぐ音楽を楽しんでほしいと思います。



職業人講話

2年生では総合的な学習の時間に、職業について考える活動を通して、地域課題を探求する学習を行っています。まず様々な職業を学び、9月の職場体験に向かっていきます。昨日、職業人講話を開催しました。働く意義ややりがいについて話を聞くことで、将来に意識を向けさせ、自分の生き方や勉強する意義を考えさせるねらいです。今回ご協力いただきましたのは、相馬魚類株式会社 加藤修一郎様、近畿日本ツーリスト株式会社 安瀬恋白様と菅野梓様、東北アクセス株式会社 浅沼久志様、都市再生機構東北震災復興支援本部 鹿野桃佳様、株式会社 Kokage 大島草太様です。子ども達はその中から2つの講話を選択して受講しました。その道のプロフェッショナルから聞く仕事の話や、地域の発展や復興に貢献する思いなどを生で聞く体験は、子ども達にとって貴重な機会となりました。これがそれぞれの心に残り、これから探究心や進路選択につながることを期待しています。



人権意識を高めよう

相馬市人権擁護委員の菊地義広先生を講師にお招きし、1年生を対象に人権教室「人権についてみんなで考えよう」を開催しました。一人一人の違いを認めることができ、差別をなくすために大事であることを教わりました。人権意識を高めることで、思いやりあふれる学校、社会を作ることになってほしいと願います。今回の学習をきっかけとして、人権作文への応募を夏休み宿題としました。ご家族の中で、人権について考えさせられる体験などありましたら、作文テーマの参考となるよう、お話し下さい。

来週の予定

7月14日（日）吹奏楽コンクール相双大会（ゆめはっと）

15日（月）海の日

17日（水）PTAあいさつ運動 ノーベル活デー

18日（木）実力テスト（1・2年）生徒会専門委員会 学校評議員会 18:00

19日（金）第1学期終業式 美化作業 部活動なし

